

## Broaden your horizons 95 ~上海体験記(上海事情)~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

先日、上海を視察してきました。まず、その近さに驚きました。時差1時間、関西空港から上海まで2時間10分です。北海道より近い! メディセレのスタッフから「とにかくダサイ格好で出かけてください」と言われたのですが……。上海に到着したら、みんな、オシャレ! ちょっぴりダサイ私が浮いているかも?! よく見ると、日本人と顔だけではなく、なぜだかファッションもよく似ています。そう、日本の雑誌がとても売れているのです。そして街並みは……。と、都会! ビルがとにかく高い! 大阪どころか東京どころか、NYよりも都会では? 私の勝手なイメージとかけ離れていました。

「パークハイアット上海」のレストラン(画像参照)で食事をしました。91階ですよ! 日本では考えられませんよね。そして、皆が心配していたPM2.5ですが、日本ほどマスク(ウー)マンを見かけなかったですね(笑)。どうやら、雨女ではないようで、天気も良くお空も真っ青でした。ただ……街中が騒々しいです。車がとにかくクラクションを鳴らします。クラクションを鳴らしながら走ります。運転も荒い荒い、ひかれそうです。そして、皆さんの会話の声もでかいでかい、「けんかしているの?」と思うほどです。ですが、活気を感じ取れました。

上海の子供たちがなりたい職業1位は何かご存じですか? もちろん「官僚」です。社会主義国ですから……。それを思い知らされるサプライズが夜に起きました。ホテルでテレビをつけると、日本のニュースが! 喜んで見ていたのですが、突然ブチッ! と切れたのです。「え? 停電?」と一瞬焦りましたが、「照明はついているし?」と不思議に思っていたら、勝手に復旧しました。そうです、ちょうど尖閣諸島のニュースだったのです。中国として流されたくない情報が流れそうになると、誰かがチェックしていて、切るのです。すごい~、怖い~。ネットも「ドライ・ラマ」など、中国として調べてほしくないキーワードを打ち込むと、検索できないのです。キャー! 私のホテルの部屋は監視下に?!

中国の大都会、上海の明暗を初日から思い知ったのでした。<つづく>

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子